

AWS Summit Japan 2026

AIエージェント時代の企業データ基盤 AWS、SAP、Databricksによるデータ活用アーキテクチャー

2026/6/25,26

奥井 務

株式会社JSOL

データ&テクノロジーコンサルティング事業本部



JSOL

Agenda

- 自己紹介
- はじめに
- AI活用の市場動向と将来展望
- AI活用における基幹×データ基盤×AI基盤の取り組み
- まとめ

自己紹介

氏名

奥井 務
(おくい つとむ)



所属・役割

株式会社JSOL
データ&テクノロジーコンサルティング事業本部
クラウドテクノロジー部

取り組み

AWS技術を利用したデータ活用・AI基盤構築など、
お客様のデータ・AI活用の全般的な支援を担当しています。

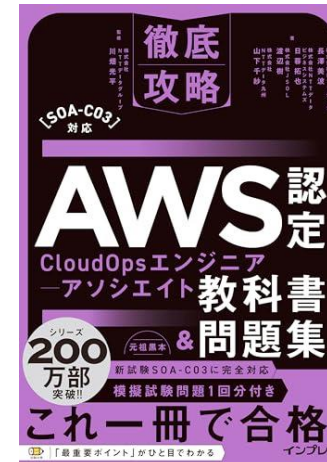
- ・ 大手製紙メーカー様
 - ・ データ活用基盤導入・活用支援
 - ・ 生成AIアプリケーション構築支援
- ・ 大手金融企業様
 - ・ データ活用・AI基盤導入支援

受賞歴

2024 Japan AWS Top Engineers
2025 Japan AWS All Certifications Engineers
など



2024 Japan AWS Top Engineers



徹底攻略AWS認定CloudOpsエンジニア
アソシイト教科書&問題集 [SOA-C03] 対応

JSOL関連サービス紹介

[J-DAP（データ活用アクセラレーションプログラム）](#) | [株式会社JSOL](#)

こんな方が対象



企画部門

事業部門

(DX推進リーダー)

AI活用は進めているが、成果に繋がらない…

汎用チャットの試行は終わったが、業務効果が見えない。
SAP等の基幹データと繋がった「本当に使えるAI」をどう作るか分からない。

個別SaaSのAIだけでは業務横断で活用できない…

Copilot・Joule・Agentforce等、各SaaSのAIが個別に動くだけ。
会社全体の業務を一気通貫で回せるAIEージェント像が見えない。



本セッションでお伝えすること

● AIEージェント時代に向けた データ基盤の「全体像と方向性」

- 国内AI活用の実態と、成果創出を阻む「連携」という最大の壁
- 基幹×データ×AIの統合を加速する、企業AIの最新動向



データエンジニア

アーキテクト

(技術実装リーダー)

SAPと生成AI基盤、どう繋がればよいか…

SAP・Databricks・Bedrock AgentCore等、新サービスが次々登場。
参考となる具体的な連携アーキテクチャパターンが欲しい。

エンタープライズ要件を満たせない…

ISMAP・IAM・監査証跡・Guardrails等、エージェント時代のガバナンス
をどう担保するか。参考事例と設計原則が知りたい。



● 実装アーキテクチャと ガバナンス設計の「具体ポイント」

- 業務横断を実現するマルチエージェント基盤の実装パターン
- 基幹データの統合・可視化による業務価値創出の具体事例

「個別AIの点在」から「つながる企業AI」へ —— 基幹・データ・AIを統合する実現像を共有します

Agenda

- 自己紹介
- はじめに
- AI活用の市場動向と将来展望
- AI活用における基幹×データ基盤×AI基盤の取り組み
- まとめ

国内企業のAI活用の状況

AIの導入は進む一方、業務変革の効果を実感できている企業は限定的。最大の要因は「AI基盤・データ基盤・基幹システムが連携できていない」こと。

実態ギャップ

—— AIの導入は進むが、効果創出は遅れている



個別には存在するが、「連携」できておらず、業務価値につながらない

原因

01

データ未整備

AIに食わせるべき業務データが
社内で散在・未整備のまま

02

基幹連携の難しさ

基幹システム（SAP等）から
必要なデータを引き出せない

03

ガバナンス不足

品質・統制・権限管理の
整備が追い付かない

つまり「AIはある、データもあるが、うまくつながっていない」—— これらの連携こそが非常に重要！

2025/10 発表

2026/04 発表

2025/02 発表

AWS

SAP

Databricks

AWS : AIエージェント基盤

Amazon Bedrock AgentCore
マルチエージェント協調 / MCP・A2A対応

• Databricks基盤としてのAWS活用

Databricks : データ基盤

Unity Catalog / Delta Sharing
データ統合管理・ゼロコピー共有

Databricks on AWS
Amazon S3 / Amazon EC2 基盤上で稼働

• BDC Connect for Databricks
— Delta Sharing でゼロコピー連携

SAP : 基幹データ・ビジネスプロセス



Agenda

- 自己紹介
- はじめに
- AI活用の市場動向と将来展望
- AI活用における基幹×データ基盤×AI基盤の取り組み
- まとめ

事例①：製紙製造業A社様

個別SaaSのAIだけでは、業務横断の活用は難しい。AWSはエージェント基盤の成熟度・ガバナンス管理機能を兼ね備え、基幹・SaaS・AIを一つにつなぐ有力な選択肢となる。

基幹システム・データ

データ

基幹系データ

その他自社／
外部データ

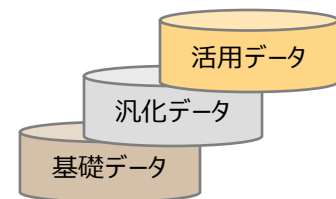
構造化／非構造化
データ

システム

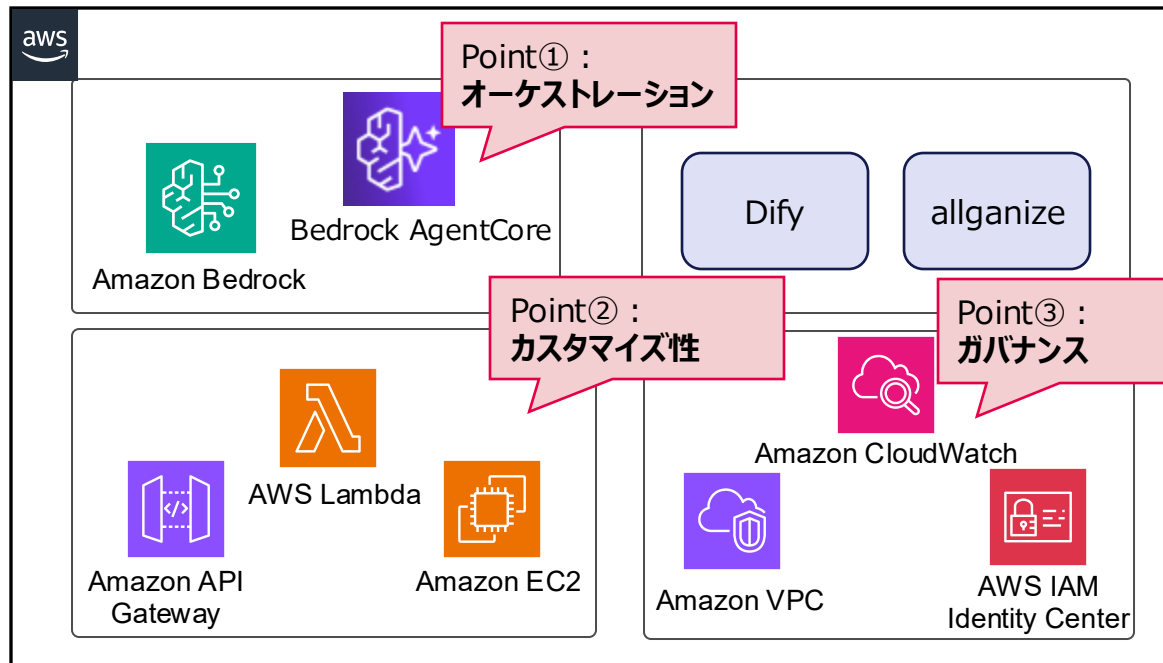
レガシーシステム・
業務ロジック

データ基盤・汎化データ

Databricks



データ・AI活用



自然言語
問合せ

基幹業務
担当

問合せ回答

実績・予測

業務システム
自動入力

工場担当

AWS（オートメーション層）の果たす役割

①業務横断オーケストレーション

複数SaaS・DB・社内APIをまたいだ
業務横断エージェントを単一基盤で構
築・管理できる。

②カスタマイズ要件対応

SaaS標準機能やレガシーなシステムで
賄えない要件をAWSサービスで補完。

③ガバナンス対応

ネットワーク・ログ・コスト管理などを1プラ
ットフォームで一元化し、エージェントが増え
ても同ルールが自動適用される。

事例②：製造業B社様

SAP基幹データは、AIが理解・活用しやすい形に整備することで真価を発揮。経営・現場・財務・ITが同じデータを共通言語として議論できる状態を作る。

- 課題** 会計の費目別内訳は見えるが、工場別・製品別の原価差異の要因まで踏み込めず、価格戦略や利用予測に活かせない。
- 打ち手** SAP基幹データとSAP外の現場データ（Excel・IoT等）をDatabricks上で統合し、AIが理解・活用できる形で原価構造を体系化。

■ BEFORE 会計メッシュの費目別内訳のみ

原価合計 340

└ 原料費	110
└ 材料費	70
└ 直接労務費	90
└ 間接労務費	40

利益変動 → 原料費変動 → 構造分析 が不可

■ AFTER カテゴリ／ブランド粒度でドリルダウン可能

原価差 ▲120

└ COGS差 ▲90	
└ xxx ▲25	
└ yyy ▲15	
└ zzz ▲50	

原価差の主要因まで段階的に分解・把握

システム構成 —— SAP原価データを Databricks で統合し、BI・AIで活用

① データソース（SAP S/4HANA）

指図実績

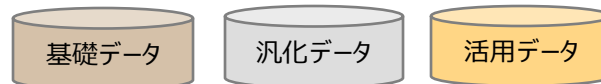
BOM

購買実績

会計データ

② データ基盤（Databricks on AWS）

Unity Catalog で統合管理



原価差分解ロジック

主要因に分解

基盤:AWS (Amazon S3・Amazon EC2)

③ 活用（BI / 生成AI）

Power BI ダッシュボード

原価ツリー・カテゴリ別・ドリルダウン分析

AIシミュレータ（次期構想）

3大因子の操作で利益インパクトを試算

販売単価

調達単価

製品ミックス

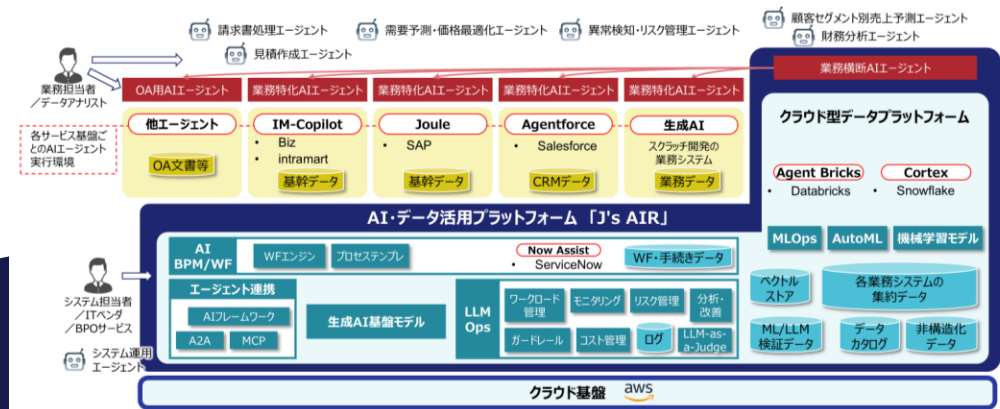
AI・データ活用の段階的な推進例

Step 1

強力なガバナンス機能と豊富なAI活用機能を備えたデータプラットフォームを選定し、スモールスタート。効果を得やすいユースケースから開始し、手触り感を得る。

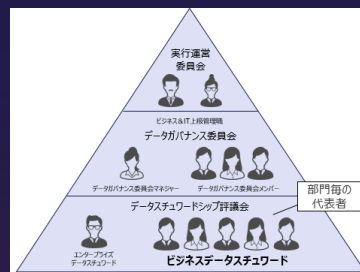
Step3

組織への統制の効いたデータ展開、AI精度向上の取り組みにより、全社データを活用したAIアプリ・AIエージェントによる業務の効率化や高度化、顧客体験の向上を実現し、ビジネス成果を拡大。



Step 2

ガバナンスルールの策定や運用体制の立ち上げ。統合データの拡充と合わせデータカタログの本格整備。

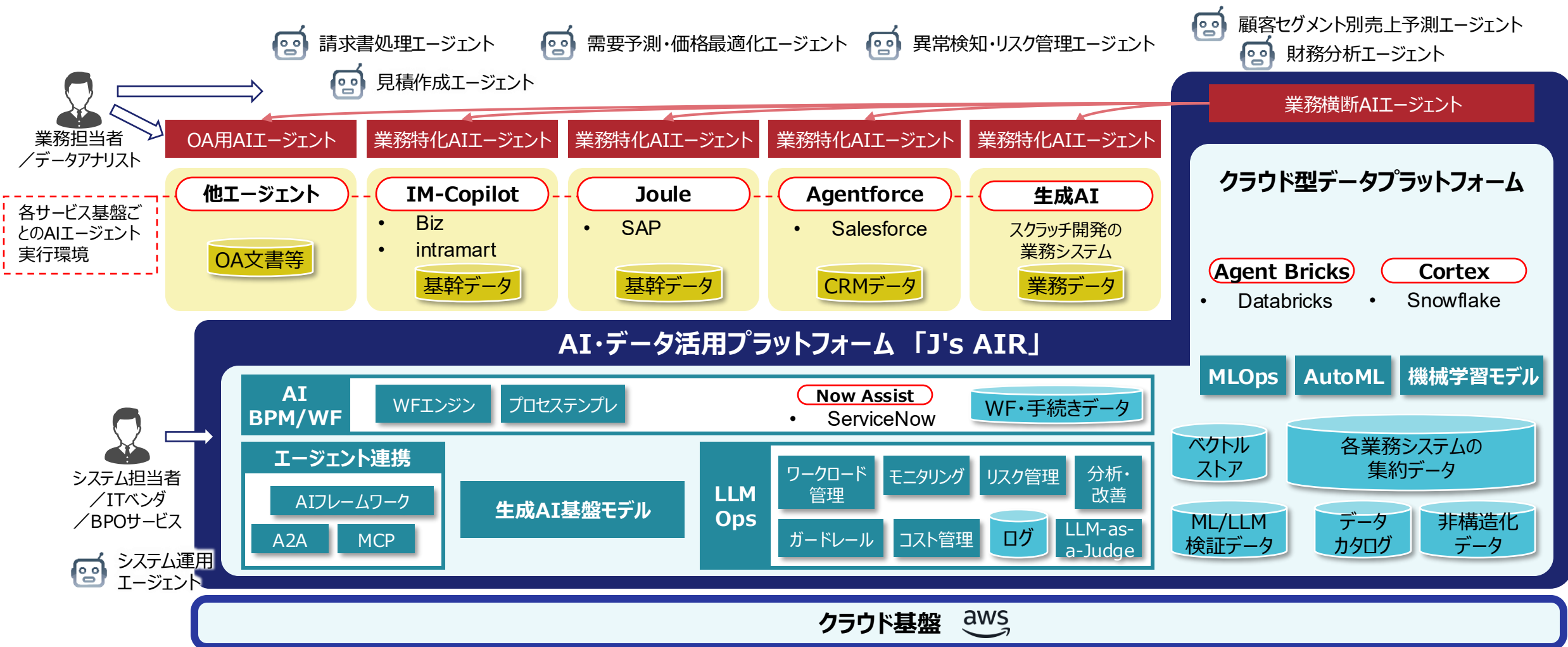


AI・データ活用の段階的な推進例



高度なAI活用：今後の拡張を見通したプラットフォーム

基幹（SAP）・データ基盤（Databricks）・各社AI基盤を横断したマルチクラウド型エージェント構成への拡張も選択肢となる。
お客様の業務要件や成熟度に応じ、段階的な発展の姿を複数パターンで検討・推進する。



Agenda

- 自己紹介
- はじめに
- AI活用の市場動向と将来展望
- AI活用における基幹×データ基盤×AI基盤の取り組み
- まとめ

こんな方が対象



企画部門

事業部門

(DX推進リーダー)

AI活用は進めているが、成果に繋がらない…

汎用チャットの試行は終わったが、業務効果が見えない。
SAP等の基幹データと繋がった「本当に使えるAI」をどう作るか分からない。

個別SaaSのAIだけでは業務横断で活用できない…

Copilot・Joule・Agentforce等、各SaaSのAIが個別に動くだけ。
会社全体の業務を一気通貫で回せるAIエージェント像が見えない。



● AIエージェント時代に向けた データ基盤の「全体像と方向性」

- 国内AI活用の実態と、成果創出を阻む「連携」という最大の壁
- 基幹×データ×AIの統合を加速する、企業AIの最新動向



データエンジニア
アーキテクト

(技術実装リーダー)

SAPと生成AI基盤、どう結びつければいいか…

SAP・Databricks・Bedrock AgentCore等、新サービスが次々登場。
参考となる具体的な連携アーキテクチャパターンが欲しい。

エンタープライズ要件を満たせない…

ISMAP・IAM・監査証跡・Guardrails等、エージェント時代のガバナンス
をどう担保するか。参考事例と設計原則が知りたい。



● 実装アーキテクチャと ガバナンス設計の「具体ポイント」

- 業務横断を実現するマルチエージェント基盤の実装パターン
- 基幹データの統合・可視化による業務価値創出の具体事例

「個別AIの点在」から「つながる企業AI」へ —— 基幹・データ・AIを統合する実現像を共有します

ご清聴ありがとうございました！

ERP

100社以上の導入実績
プライムでの高難度プロジェクト
最新技術の知識とノウハウ

SAPビジネス



SAP AWARD OF
EXCELLENCE
受賞

30回

PROJECT
AWARD
受賞

12回

Biz/ビジネス



J's-TV

Biz/ AWARD受賞

お客様事例 (一例)

GENERAL

JSOL SAP導入事例 株式会社ゼネラル様

TBS

株式会社TBSホールディングス様導入事例 |
株式会社JSOL

AWS

長年のパートナー活動
各ソリューション・業界向けの
オフリング提供

ソリューション・業界オフリング

- SAP on AWS CoE参画
(Center of Excellence)
- RISE with SAP on AWS対応
- Kiroxエンタープライズシステム AI駆動開発
- 製薬業様向けCSVリファレンス策定
- 金融業様向け適合性確認
(PCI-DSS、FISC安全対策基準)

...etc.

有識者が多数在籍

Japan AWS Ambassadors
Japan AWS Top Engineers
Japan AWS Jr. Champions
Japan AWS All Certifications Engineers



データ/AI活用

業務・技術の両面で
構想～実装・定着まで一貫支援
経営に繋がる真の価値創出

データ活用×AI活用オフリング

J-DAP (JSOL Data Acceleration Program)
構想策定から実装・定着までを体系的に支援
業務・データ・組織一体での推進モデル

Databricks

データ統合・分析・AI活用基盤の設計／構築

SAP等基幹データ × 外部データ × AI
業界・業務起点のデータ/AIユースケース創出

カスタマーゼロ推進

自社でのデータ活用・AI活用によるノウハウ蓄積
知見をお客様支援へ還元



今はない、答えを創る。

JSOL